

散——てちた重　とみ補——　今新慶と呼ば
ま——山寺一の悪僧がや——の侍若く入らば、
並の袍を足もく、城戸より構えさる五人く——
袈裟ち石を軽くと投げ、心術を構へ、如く二三
度打も投げ、千のま、或は甲のま、
と打碎れ、或は、五、六、打り、れ、人馬、
僻易——て持物、具も、打撲て、四方、散、
ち、け、ふ、ふ、人、を、れ——宛も、
如く、城、中——の、兵、勝、ま、ま、下、ま、
た、ま、

所、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
の、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
と、押、て、進、ち、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
敵、れ、と、宣、ひ、敵、も、れ、れ、れ、れ、れ、
大将、の、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
る、袖、と、切、ち、て、一、文、ま、ま、ま、ま、
様、と、只、一、寸、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、